

# 5期目の町政執行方針

(要旨)

平成28年置戸町議会第4回定例会において、井上久男町長が示した5期目の町政執行への基本的な考え方についてお知らせします。

国内外における社会情勢が不透明な中で、わが国では人口減少社会を迎え、小規模自治体の消滅の可能性が提唱されるなど、これからが正に小さな自治体の真価が試される時代であります。置戸町においても昨年度、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、西暦2040年の人口目標を、2,300人といたしました。

この総合戦略が目指す人口2,300人のまちづくりへ果敢なる挑戦と、第5次置戸町総合計画が目

指す「自然を愛し、人にやさしいまちづくり」の集大成に向けて、今後も町政を進めてまいります。

今後も地方自治体を取り巻く環境は、ますます厳しさを増してまいります。健全財政の堅持と効率的な行財政運営を推進し、「町民みんなの笑顔がかがやく町づくり」を5期目のテーマとし、町民の誰もが笑顔で幸せを実感できるよう町政に取り組んでまいりますので、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 力強い農業と林業をはじめとする産業の振興発展

基幹産業である農業は、本年2月に署名が行われた環太平洋経済連携協定（TPP）の動向など厳しい農業環境の中、担い手の育成・確保と農地の集積や有効利用を目的として設立された「農事組合法人勝山グリーンファーム」は、本年度事業が計画どおりスタートいたしました。本町農業のモデル事業として大いに期待しております。今後は、新たな農業就業者の養成や、農業分野における6次産業化などの展開も視野に、農業者や農業団体など関係機関と連携を図りながら支援を行ってまいります。

林業関係では、補助制度の活用により森林整備を推進してまいりました。しかし近年、将来の担い手不足が大きな課題となっております。林業労働者の担い手確保に向けて関係団体との協議を進めてまいります。

オケクラフトの販売部門を担う「一般社団法人おけと森林文化振興協会」は設立して2年目を迎えますが、オケクラフトの認知度をより一層高め、更なる振興発展のため、支援を継続してまいりま

す。

商工業の振興策として、空き店舗を活用した新規開業への支援や、店舗、事務所の改修に対する支援制度を創設しましたが、引き続き利用促進に向け制度のPRに努めてまいります。

観光関係では、交流促進センター「勝山温泉ゆうゆ」の改修工事に着手いたします。平成29年度のリニューアルオープンに向け、町民及び町外から利用いただくみなさんに末永く愛され、親しまれる施設となるよう準備を進めてまいります。



改修工事が行われる「勝山温泉ゆうゆ」

## いつまでも住み続けることのできるまちづくり

高齢化社会を迎え、介護予防事業や介護サービスの提供には、地域医療体制の充実と、介護、医療機関の連携がますます重要となっております。

置戸赤十字病院は、町民が安心して暮らし続けることのできる根幹をなすものであります。今後も介護サービスとの連携強化、在宅医療体制の推

進など、医療環境の充実に向けて、継続して支援をいたします。

特別養護老人ホームは、昭和57年の開設から34年が経過し、施設の老朽化への対応が必要となっております。今後も安心して利用いただくために、指定管理者である社会福祉協議会と連携を